

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(1/6)

| | 評価区分(*1) | 総合評価 (ⅠとⅡの平均値にⅢを加味) | Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価 | Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | Ⅲ 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2) | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|-----------------------------------|----------|------------------------|---|--|-------------------------|--|
| | | | | | | |
| 健幸長寿社会を創造するスマートウエルネスシティ総合特区(見附市等) | 正 | A 4.9 | B 3.9 進捗度 ・総合評価指標としての「健幸度」の開発 105% ・地域住民における1日の歩行数(1日平均9,000歩達成者の人数比率の向上) 116% 日常の主移動手段(徒歩、公共交通機関等利用者)の人数比率の向上) 125% 等 | B 4.4 規制の特例等 ・ライジングボラード(自動昇降式車止)による車両の通行制限 ・連節バス(BRT)の導入と拡大に向けた手続の簡素化等 財政支援等 ・自治体共用型健康クラウドの整備等 | +0.75 | <p>・健幸クラウド(※1)を整備し、政策実施に役立てていること、参加各自治体の先行的取組みが他の自治体に「水平展開」(※2)されていること、さらに本特区参加自治体以外にも影響が及び始めていることは評価できる。</p> <p>・評価指標の中には、ソーシャルキャピタル、高齢者就業率、社会生活参加率、中心市街地商店街歩行者通行量等健康運動事業の範疇を超えたものが含まれており、これらの指標の目標設定と目標達成の考え方及び取組みは十分整合していない。目標設定を変えないならば、健康運動事業の範疇を超えて取組みの幅を広げる必要が出てくるのではないかと。</p> <p>※1:「健幸クラウド」とは、自治体が保有している国民健康保険、協会けんぽや企業保険のデータを一元化した自治体共用型のデータベース。これにより、各市の「健康都市インデックス」を算出するなど、自治体の健康政策の効果を客観的に評価する取組みが行われている。</p> <p>※2:新潟市にライジングボラードを設置する社会実験により、その有効性が確認できたため、平成26年度以降、見附市、岐阜市、高石市等において、設置に向けた関係機関との協議が進められる。</p> |

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「Ⅲ」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。